



# 認知症に関する意識調査報告書 -認知症の人の家族対象-

## 1. 調査概要

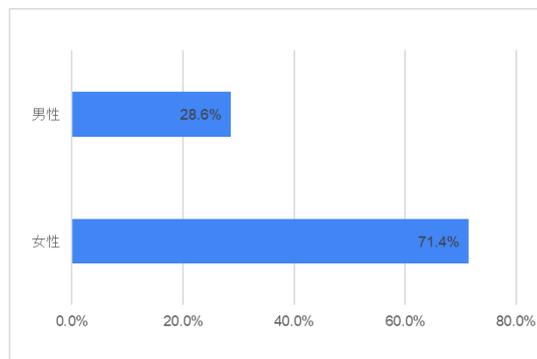
- **調査目的:** 三重県認知症施策推進計画の策定のため、認知症の人の家族を対象に、認知症及び認知症施策に関する意識を把握する調査を実施し、普及啓発や支援施策の検討資料とする
- **調査対象:** 認知症の人の家族
- **調査方法:** 書面アンケート
- **調査期間:** 2025年6月18日～2025年8月25日
- **回収数:** 287名
- **設問数:** 全16問(選択式及び自由記述)

## 2. 設問別分析

### 1. 性別

属性別結果(%)

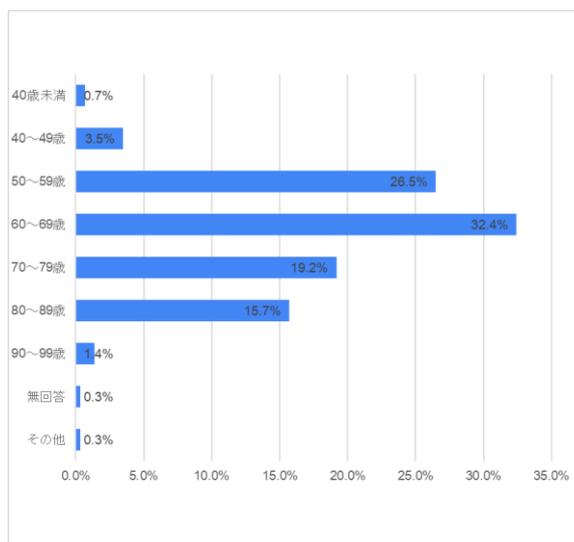
1.性別	割合(%)
男性	28.6%
女性	71.4%



### 2. 現在の年齢

属性別結果(%)

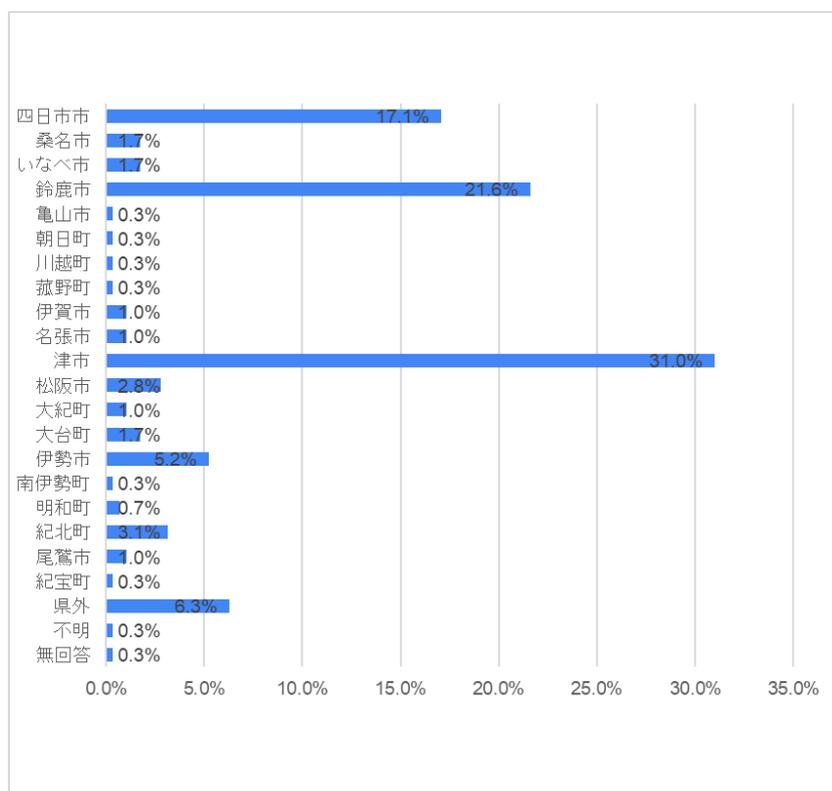
2.現在の年齢	割合(%)
40歳未満	0.7%
40～49歳	3.5%
50～59歳	26.5%
60～69歳	32.4%
70～79歳	19.2%
80～89歳	15.7%
90～99歳	1.4%
無回答	0.3%
その他	0.3%



### 3. 居住地

属性別結果(%)

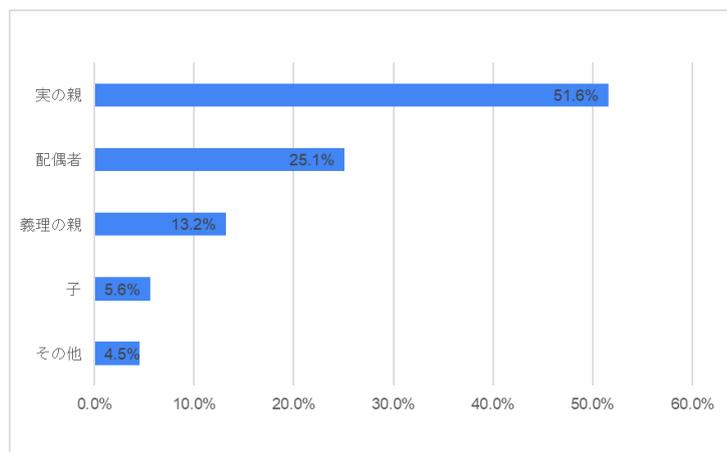
3.現在の居住地	割合(%)
四日市市	17.1%
桑名市	1.7%
いなべ市	1.7%
鈴鹿市	21.6%
亀山市	0.3%
朝日町	0.3%
川越町	0.3%
菰野町	0.3%
伊賀市	1.0%
名張市	1.0%
津市	31.0%
松阪市	2.8%
大紀町	1.0%
大台町	1.7%
伊勢市	5.2%
南伊勢町	0.3%
明和町	0.7%
紀北町	3.1%
尾鷲市	1.0%
紀宝町	0.3%
県外	6.3%
不明	0.3%
無回答	0.3%



### 4. 認知症の診断を受けた家族との続柄

属性別結果(%)

4.認知症の診断を受けた家族との続柄	割合(%)
実の親	51.6%
配偶者	25.1%
義理の親	13.2%
子	5.6%
その他	4.5%

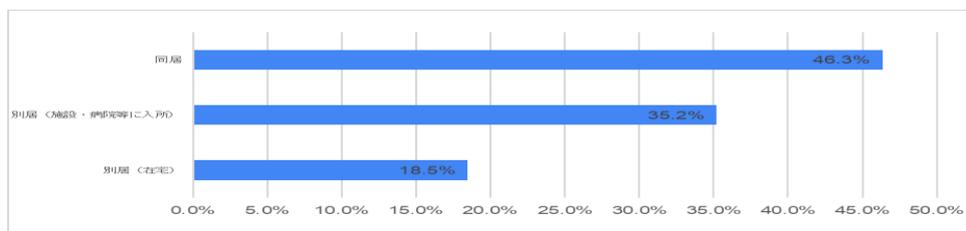


認知症の診断を受けた家族との関係は、「実の親」が 51.0%であり、次いで「配偶者」25.1%であった。

## 5. 認知症の診断を受けた家族との同居の有無

属性別結果(%)

5. 認知症の診断を受けた家族との同居の有無	割合(%)
同居	46.3%
別居（施設・病院等に入所）	35.2%
別居（在宅）	18.5%

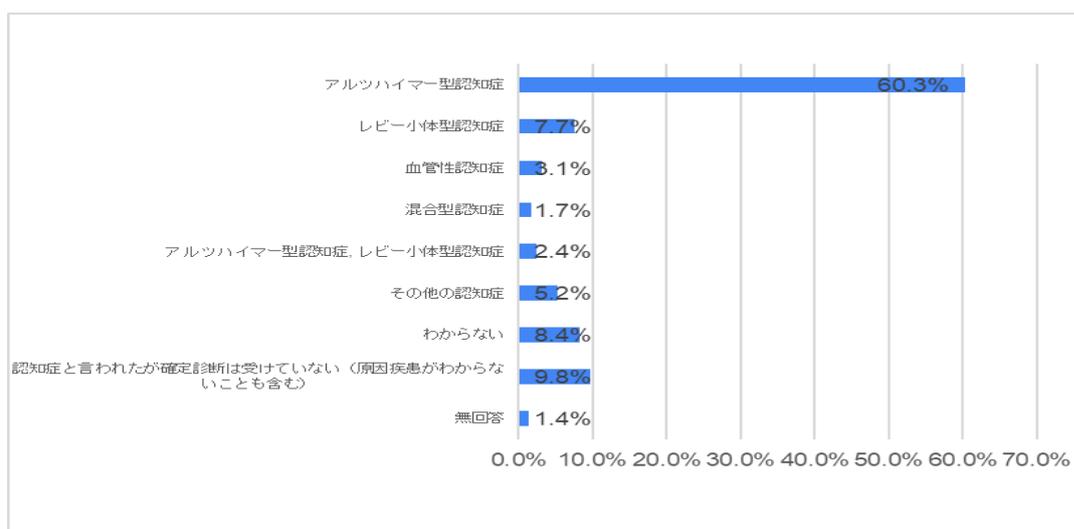


認知症の診断を受けた家族との同居の有無は、「同居」が46.3%であり、次いで「別居（施設・病院等に入所）」35.2%であった。

## 6. 認知症の診断を受けた家族の診断名

属性別結果(%)

6. 認知症の診断を受けた家族の診断名	割合(%)
アルツハイマー型認知症	60.3%
レビー小体型認知症	7.7%
血管性認知症	3.1%
混合型認知症	1.7%
アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症	2.4%
その他の認知症	5.2%
わからない	8.4%
認知症と言われたが確定診断は受けていない（原因疾患がわからないことも含む）	9.8%
無回答	1.4%

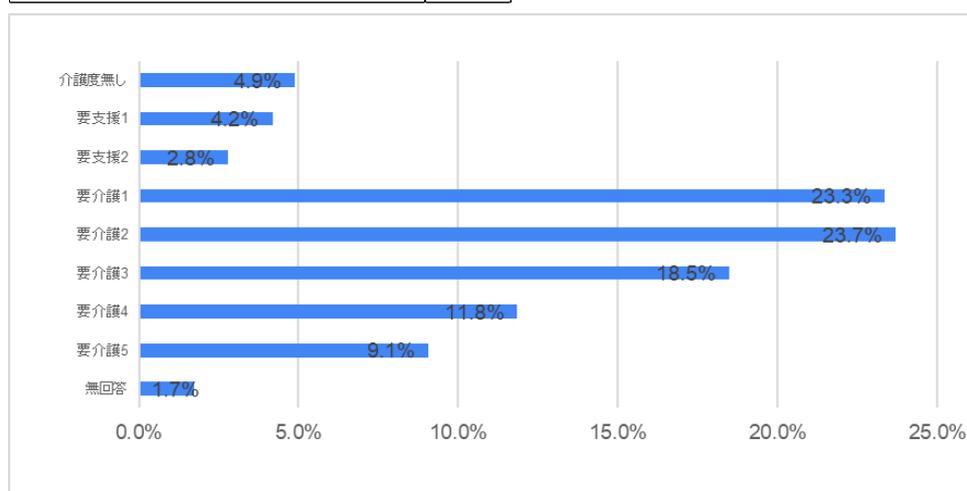


認知症の診断を受けた家族の診断名は、「アルツハイマー型認知症」が60.3%と最も多かった。

## 7. 認知症の診断を受けた家族の現在の要介護度

属性別結果(%)

7.認知症の診断を受けた家族の現在の要介護度	割合(%)
介護度無し	4.9%
要支援1	4.2%
要支援2	2.8%
要介護1	23.3%
要介護2	23.7%
要介護3	18.5%
要介護4	11.8%
要介護5	9.1%
無回答	1.7%

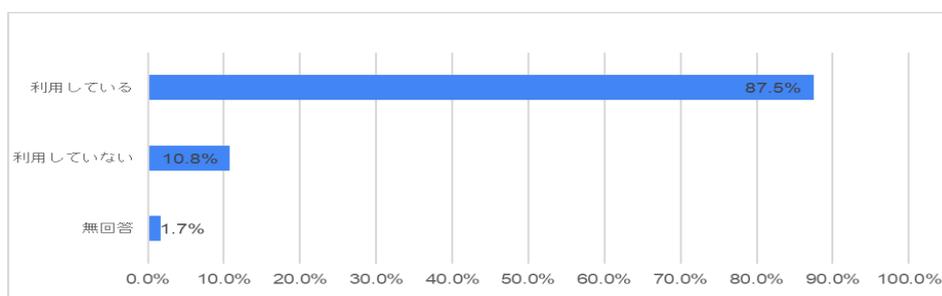


認知症の診断を受けた家族の要介護度は、「要介護 2」23.7%が最も多く、次いで「要介護 1」23.3%、「要介護 3」18.5%であった。

## 8. 認知症の診断を受けた家族の介護保険サービス利用状況

属性別結果(%)

8.認知症の診断を受けた家族の介護保険サービス利用状況	割合(%)
利用している	87.5%
利用していない	10.8%
無回答	1.7%

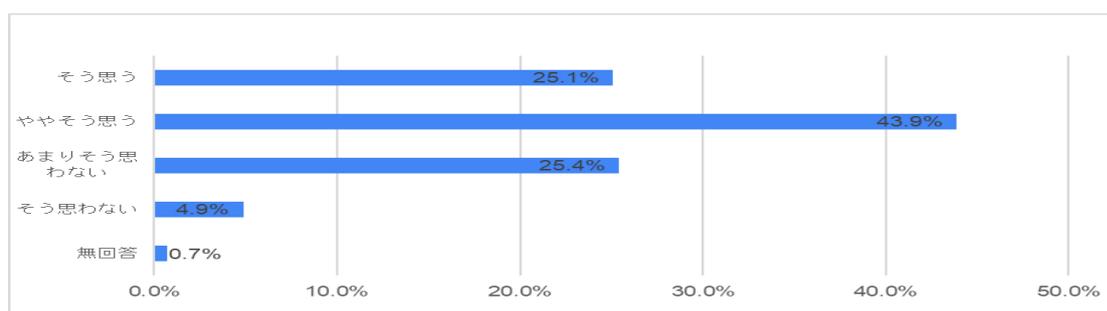


介護保険のサービスの利用状況は、「利用している」87.5%であり、「利用していない」が10.8%であった。

## 9. あなたの周りの人は、「認知症」と「認知症の人」に関して正しく理解していると思うか

属性別結果(%)

9.あなたの周りの人は、「認知症」と「認知症の人」に関して正しく理解していると思うか	割合(%)
そう思う	25.1%
ややそう思う	43.9%
あまりそう思わない	25.4%
そう思わない	4.9%
無回答	0.7%

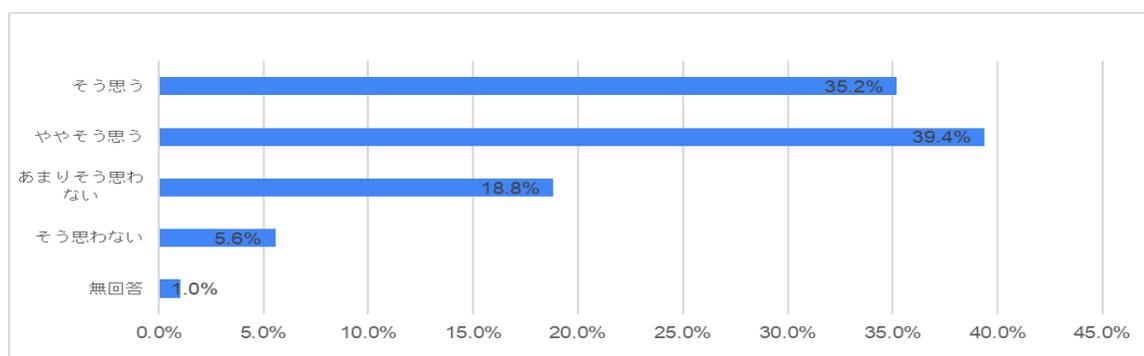


周囲の人が、「認知症」と「認知症の人」に関して正しく理解していると思うかについては、「そう思う」25.1%、「ややそう思う」43.9%と理解していると思う人が 69.0%であった。

## 10. 認知症の診断を受けたあなたのご家族は、自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいますか。

属性別結果(%)

10.認知症の診断を受けたあなたのご家族は、自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいるか	割合(%)
そう思う	35.2%
ややそう思う	39.4%
あまりそう思わない	18.8%
そう思わない	5.6%
無回答	1.0%

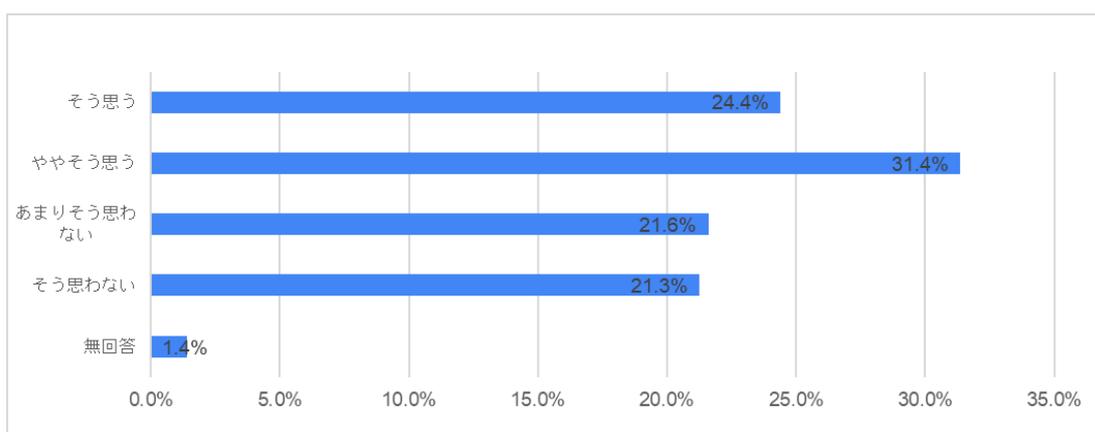


自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいるかについては、「そう思う」35.2%、「ややそう思う」39.4%と自分の思いを伝えることができる人がいると思う人が 74.6%であった。

## 11. 認知症の診断を受けたあなたのご家族は、他の認知症の人と交流したり、友人、仲間等と外出しているか

属性別結果(%)

11.認知症の診断を受けたあなたのご家族は、他の認知症の人と交流したり、友人、仲間等と外出しているか	割合(%)
そう思う	24.4%
ややそう思う	31.4%
あまりそう思わない	21.6%
そう思わない	21.3%
無回答	1.4%

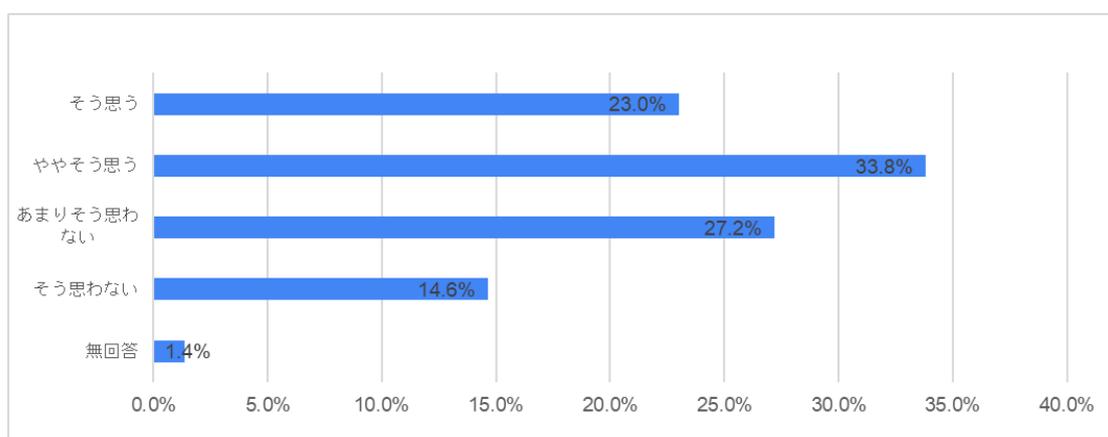


他の認知症の人と交流したり、友人、仲間等と外出しているかについては、「そう思う」24.4%、「ややそう思う」31.4%と、他の認知症の人との交流があると思う人が55.8%であった。

## 12. 認知症の診断を受けたあなたのご家族は、自分自身が「自立して、かつ安心して、周囲の人々と共に暮らしている」と思うか

属性別結果(%)

12.認知症の診断を受けたあなたのご家族は、自分自身が「自立して、かつ安心して、周囲の人々と共に暮らしている」と思うか	割合(%)
そう思う	23.0%
ややそう思う	33.8%
あまりそう思わない	27.2%
そう思わない	14.6%
無回答	1.4%

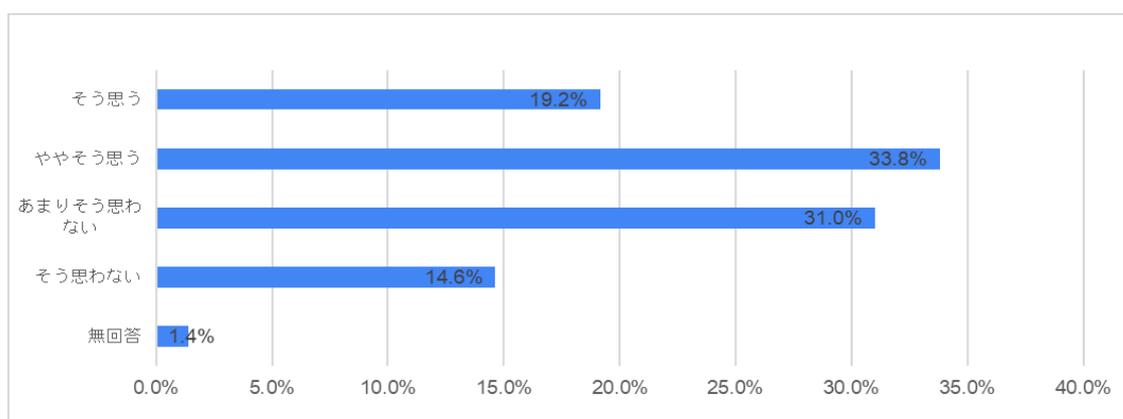


自分自身が「自立して、かつ安心して、周囲の人々と共に暮らしている」と思うかについては、「そう思う」23.0%、「ややそう思う」33.8%と自分自身が自立、安心、周囲と共に暮らしていると思う人が 56.8%であった。

### 13. 認知症の診断を受けたあなたのご家族は、「生きがいや希望をもって、自分らしく暮らしている」と思うか

属性別結果(%)

13.認知症の診断を受けたあなたのご家族は、「生きがいや希望をもって、自分らしく暮らしている」と思うか	割合(%)
そう思う	19.2%
ややそう思う	33.8%
あまりそう思わない	31.0%
そう思わない	14.6%
無回答	1.4%

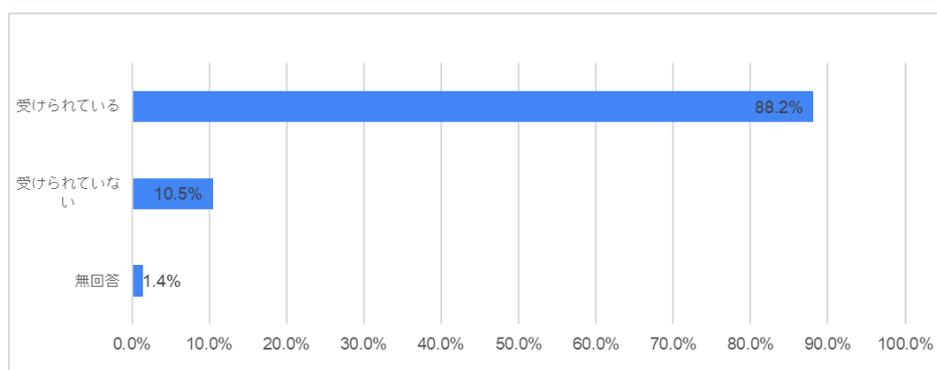


「生きがいや希望をもって、自分らしく暮らしている」と思うかについては、「そう思う」19.2%、「ややそう思う」33.8%と生きがい希望を持ち自分らしく暮らしていると思う人が53.0%であった。

## 14. 認知症の診断を受けたあなたのご家族は、自分の希望する医療や福祉サービスを受けられているか

属性別結果(%)

14. 認知症の診断を受けたあなたのご家族は、自分の希望する医療や福祉サービスを受けられているか	割合(%)
受けられている	88.2%
受けられていない	10.5%
無回答	1.4%

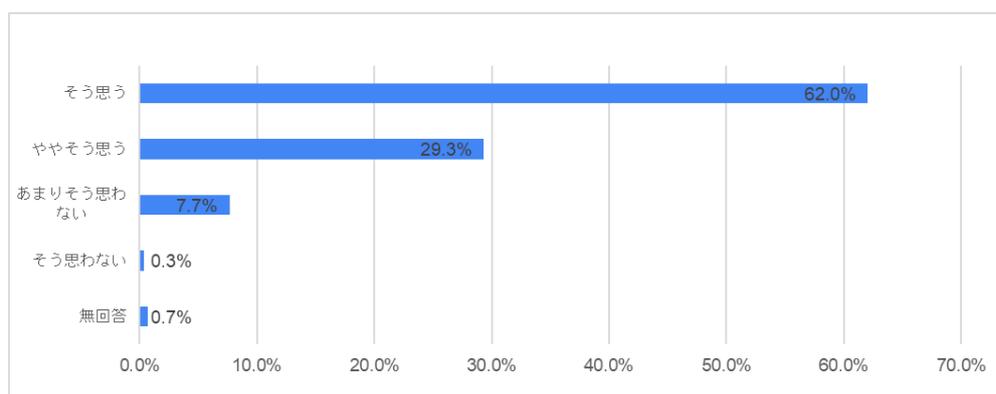


自分の希望する医療や福祉サービスを受けられているか、「受けられている」88.2%であった。

## 15. あなたは、「自分自身の状況に配慮し、相談にのってくれる人がいる」と思うか

属性別結果(%)

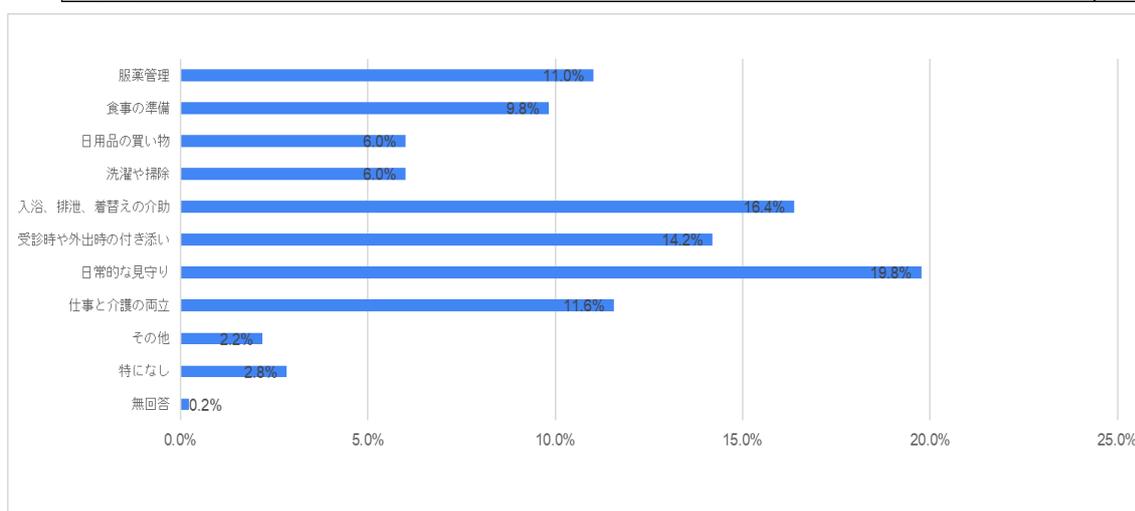
15. あなたは、「自分自身の状況に配慮し、相談にのってくれる人がいる」と思うか	割合(%)
そう思う	62.0%
ややそう思う	29.3%
あまりそう思わない	7.7%
そう思わない	0.3%
無回答	0.7%



「自分自身の状況に配慮し、相談にのってくれる人がいる」と思うかについては、「そう思う」62.0%、「ややそう思う」29.3%と、思う人が91.3%であった。

## 16. 認知症の診断を受けたあなたのご家族を介護するとき、困難に感じていること(選択は複数可能)

16.認知症の診断を受けたあなたのご家族を介護するとき、困難に感じていること(選択は複数可能)	割合(%)
服薬管理	11.0%
食事の準備	9.8%
日用品の買い物	6.0%
洗濯や掃除	6.0%
入浴、排泄、着替えの介助	16.4%
受診時や外出時の付き添い	14.2%
日常的な見守り	19.8%
仕事と介護の両立	11.6%
その他	2.2%
特になし	2.8%
無回答	0.2%



ご家族を介護するときに困難に感じることは、「日常的な見守り」19.8%、「入浴、排泄、着替えの介助」16.4%、「受診時や外出時の付き添い」14.2%と多かった。

## 17. 認知症になっても、ならなくても、希望を持って日常生活を過ごすために、こうなったら良いと思うことがあれば、教えてください。(記述してください)

自由記述
ヘルパーの充実が、もっと必要。
周りの正しい理解。
安心して生活ができる場所があれば良いと考える。
家族が認知症になって、初めて色々な支援の仕組みがあることを知りましたが、その情報にたどり着くことがなかなか大変でした。医療保険で安心して医療が受けられることを誰もが知っているのと同じぐらい介護保険の内容を周知してほしいと思います。

人とのつながり 会話 日頃の運動。
介護施設入居における入居基準緩和と施設利用料の軽減。
先ずはお金の心配をしなくてよいこと。そして、一緒に過ごす人が自分に笑顔を向けてくれること。かと思えます。
身近に相談や一緒に今後のことを考えてくれる人がいるといいなと思えます。
介護施設の入居費用が、もっと安ければ助かる。
個々の対応は難しいと思いますが、本人の話を聞いてくれる人がいて、月に一回でもやりたいことが叶えば充足感を感じられるのかもしれない。
本人は、認知症になっていると思っていない為、通わせている施設が、幼稚園へ通う気分で通わせてもらっているので楽しんでる様子、一番良い事だと感謝しております。
毎日、何か「やるべきこと」、「いたいこと」など、生きがいとなるものがあるといいな、と感じる。
本人が、安心していられる場所があればいいと思う。
認知症について深く理解してくれる人との交流を増やす。
自分らしく、穏やかに過ごせているのが望ましい。
ひとりで抱え込まない。
近所に店がない事、交通に不便。
意思疎通の日常的な実行と、意識過重にならない事。
認知症になった本人より、家族への相談・支援が充実しているといいと思う。
お互い気長に寄り添って、普段通りに助け合えばいいと思えます。
会社の時間有給の開催を早く進めてほしい。
たまにはゆっくり休める時があればなんとか過ごせると思えます。
趣味など好きなことがある。楽しみにできることをもつこと（友達と話したい、ランチしたい、音楽、絵画、旅行がしたい、料理など）。
介護をかわってほしい。
外出の機会を作り、コミュニケーションを取る。趣味を持って生活に楽しみをみつける。
介護負担が大きい。
認知症になると昔の事ばかり話すことから、他自治体に住む兄弟とかと、同じ施設に入れるといいと思う。
結局、お金がかかる。毎日デイサービスやショートステイを利用すると、自己負担額が増えし、増えないために在宅日を増やせば、介護する家族の負担が増える。別居だが敷地内で行き来することが多いし、食事も3食宅配だとお金がかかるので、家族が作ることになる。

<p>公的を含め、色々なサービスが連携して、柔軟な支援体制があると、さらに安心して在宅生活を継続させることができる。現状では、個々のサービスと、すべてが契約で成り立ち、契約によるサービスの内容に線引きされてしまい、全てのつながりがぎこちない。サービス間の垣根のようなものが、本来のシームレスケアを阻害していると思う。</p>
<p>介護サービスにたどり着くまでが、分からないことが多く大変でした。医療保険が周知されているように、介護保険の内容が広く知られていると安心だと思います。</p>
<p>家族がサポートしながら、なるべく出来ることをやり続けられるように。</p>
<p>本人、及び介護をしている家族が安心できる介護サービスを受けられること。</p>
<p>自分の楽しみを持つこと。</p>
<p>本人の意思や、気持ちに寄り添ってもらえる。また理解してもらえる人がきてくれること。</p>
<p>趣味を持つ事。</p>
<p>介護保険の実費負担を気にせず使えたら。</p>
<p>理解して寄り添ってくれる人が、周りに居てくれると有り難いと思う。</p>
<p>出来ないことが増えていく中で、出来ることは極力自分にさせて頂き、又何かしらの役割を与えて頂くことで、自信と希望に繋がると思います。</p>
<p>住みなれた所で、安心して日常生活がおくれるようコミュニティーの場所をふやしてほしい。介護サービスの料金が年金で支払うことができる事。</p>
<p>交通手段や、社会資源、交流場が大変少ない。又、信頼して医療を受けられる機関がない。福祉従事者が不足している。解決していただける地域作りを望みます。</p>
<p>人と接する事。</p>
<p>穏やか気持ちで、笑顔でいてくれたらいい。</p>
<p>趣味や人との関わり。</p>
<p>人と関わる事が出来る趣味を持つこと。</p>
<p>グループホームの職員の方々に日々良くして頂いているので特にありません。</p>
<p>趣味を持つこと。</p>
<p>仕事以外で、認知症になる前から一緒に過ごせる仲間。</p>
<p>認知症の介護が、どれだけきついか。介護者を支えるサービスの充実と周りを巻き込めるような地域作りが必要。介護していない人も、いつか我が身に降りかかってくると、他人事とおもわれないような取組をしてほしい。</p>
<p>介護と仕事との両立。仕事の継続が出来る配慮など。</p>
<p>デイサービスショートステイがあったのでよかったです。サービスを使ってあるとよいと思う。まわりの人が理解してほしかった。行政の人と包括の人がもってほしい。認知症をみてる先生が少ないです。</p>

夫が、安心して行ける場所があり、自分もそうだし出来る場所が近くにあるので助かっている。もっとそんな場所がふえるといいと思います。もっと認知症の事をわかってほしい。
日常生活がスムーズに送れる様に。
相談にのってくれる仲間、介護者としては職場の理解、当事者としては本人の言動を見守ってくれる人や、見守ってくれる居場所があることで安心ができ、変らず日常生活がおくれる。偏見がなくなる世の中であってほしい。行政、包括が現場の様子を知らなすぎる。もっと認知症を理解し、地域に新しい認知症観を発信してほしい。認知症サポート医、専門医を増やしてほしい。
要介護度に関係なく、日常的な見守りを強化し、本人の言動に妄想もあるかもしれないが、一度は聞いて対処出来れば良いと思う。
世の中の方がもっと、関心、理解してくれれば良いと思います。
自宅で、最期まで近所・地域の人に守られて過ごすのが理想的ですが、やはり家族が安心して、仕事に専念できるためには、気軽に利用できる施設がたくさんあると良いと思います。
母のために妻は大変よくしてくれているが、そのために精神的な負担が大きいことをひしひしと感じている。安心して預けられる施設がたくさんあると良いと思います。
父が亡くなってからの母は気丈でいるが、やはり寂しさは否めない。みんなが気楽に集える場、小規模の施設がたくさんあれば良いと思う。
夫が病死して、長い間一人暮らしの叔母を見ているとかわいそう。楽しみの場があって助け合えると良い。公的サービスが充実すると良いと思う。
一人暮らしの父を見ていると同居したが、義父や義母と一緒に過ごすのは無理。今はグループホームで幸せです。誰もが入れる利用できる施設が、あればもっと良いと思います。
認知症になって、戦時中の記憶にとらわれている父の姿が辛い。今はグループホームで落ち着いている。最期まで看取っていただければ良いと思う。
近所の人・仲間に支えられて、良好な暮らしができていたが、母・娘との関係は想像外で、これ以上の世話はできないところまで来ていた。今はグループホームで本来の明るさを取り戻している。死ぬまで面倒を見て欲しい。
子供から青年期までの苦労が、様々な場面で感じられる。今はホームで心の不安定を払拭はできないが、安心して過ごしている。小規模な施設が身近にあると良いと思います。
私の妻とうまくいっていなかったの、立場上私は辛い思いをしていたが、入所して母も落ち着き、わがママを言いながらも楽しそうにしている。母を元から離すのは辛かったが、今は安心、こんな施設があれば皆が安心できると思う。
一人娘であったが、仕事のため母を見てやれなかった。そのため、人間関係も崩れていたが、ホーム入所で身の回りを、施設でやってもらえたので、自分の仕事に専念できた。

<p>母は、人と接することが好きで、入所して明るく、自分の自由に暮らしている。皆仲良くし、場合によっては他の人の世話までしている。小規模のこんなホームがたくさんあると、皆が幸せになれると思う。</p>
<p>母は、常日頃「尾鷲に帰りたい」と口にしていた。長野県の気候風土に馴染めなかった。ご縁があって、津に来て空気感が良くなり、落ち着いて生活してくれている。制度の中であっても、人間的な対応をしてくれる施設が、増えてほしいと思っています。</p>
<p>元来、地域の奉仕活動に参加していたが、それができなくなり認知症が進んだ。今はグループホームでマイペースながらも、職員や他の人と協力して過ごしている。入れて良かったと思っている。</p>
<p>夫の暴力、圧力から逃れるために、グループホームに入所した。夫と離れ、ホームの職員と触れ合えたことで笑顔が戻った。家族と離れても過ごせるホームがたくさんあれば、救われる人がたくさんいると思います。</p>
<p>母の人生は苦勞の連続でした。3人の娘を育て、父の死後も家族をまとめてくれました。安心しています。こんなグループホームがたくさんあれば良いと思います。</p>
<p>地位のある仕事をしていた。父は気難しかったが、今はデイサービスを楽しみにしている。体力低下しても、参加できるデイサービスの充実を望みます。</p>
<p>身体介護が必要な父にとっては、デイサービスが1番楽しみ場です。徒歩圏内にこんな施設があれば良いと思います。</p>
<p>一家の大黒柱だった母、デイサービスにはあまり馴染めないのかな？ 母に対応できるようなデイサービスやグループホームがあったら良いと思います。</p>
<p>アルツハイマーが進行していると思う。今は元気だが、将来は心配。気軽に利用できるデイサービス、グループホームの充実を望んでいます。</p>
<p>今のデイサービスを、母は喜んでいて。できるだけ通い、通うことが無理になったら、デイ併設のグループホームに入れたら良いと思います。</p>
<p>家族環境は良いので、このまま自宅で最期を迎えて欲しい。</p>
<p>身体の病気で病院などを転々としたが落ち着けなかった。今はグループホームで職員と会話しながら楽しく過ごしている。これからも幸せにしていってほしい。</p>
<p>近くに母がいて元気だったので安心していましたが、急に認知症が出てきた。今は近くのデイサービスを、利用して楽しくしている。近くにデイや話し得る場があるといいと思う。</p>
<p>家を守ってきた母は、自宅を離れたくないと思っている。今の家で死ぬまでいて欲しい。近所にデイやサロンがあって、自由に利用できたら良い。</p>
<p>一人暮らしが長かった。母は友人も多かったが、高齢になり、話し相手も少なくなり寂しそう。デイサービスを利用しているが、近くで気軽に利用できるサロンがあれば良いと思う。</p>

<p>明るい性格の母は、おしゃべりが好きなので、近所に集いの場があれば、自宅で過ごせると思っています。</p>
<p>グループホームに入居して、母が安心してそうするようになり、親の介護で対立していた兄弟と今は仲良くできるようになった。</p>
<p>近所に住んでいた。子がないので、遠縁の私が世話をしてきたが、考え方の相違で苦労した。グループホームに入って落ち着いているので安心している。</p>
<p>苦労して仕事を続けてくれた夫に感謝しています。利用しているデイサービスでは、ハーモニカを演奏して皆に喜ばれています。気軽なサロンやデイサービスを充実してほしい。</p>
<p>自営業は定年がないので、今では自分のしたい業務をしながら、お客様との会話を楽しんでいる。会話を楽しむ父なのでサロンがあれば良いと思う。</p>
<p>地域の人々の理解、助け合い。</p>
<p>家族も含めて安心できる支援体制があるといい。家族が感染症になると、施設で受け入れてもらえない。本人が感染した場合も家で隔離はできない。</p>
<p>介護施設に入居させたいが、費用が高額過ぎてデイサービスにお願いしています。老人介護にも補助金制度を充実してほしいです。</p>
<p>医学の研究により予防や予知することができるよう切望します。</p>
<p>オギャーと生まれ、幼稚園、小学校、中学校と義務教育が有る様に、高齢になったら誰もが差別なく入所できる施設が、もっと多くあれば安心して生きていけると思います。</p>
<p>支えてくれる人がいる事。理解してくれる人がいる事。同居している事。笑顔で接する事。</p>
<p>本当なら一人暮らしを続けさせてあげたかった。</p>
<p>外出することが億劫になってくるので、気軽に訪問してくれる安心できる地域のサービスがあるといいと思います。</p>
<p>助け合いの精神を持つ寛容な心。</p>
<p>側に話せる人がいる事。</p>
<p>周囲の偏見が減るといい。移動の支援があるといい。</p>
<p>地域全体が見守り、支え合いが出来る関係が必要。</p>
<p>家族も周囲も個々の様子を理解できる様なシステムがあり、支え合いが成り立つ事が必要。</p>
<p>地元にもっと関わりのある活動に参加するようにしたほうが良かったと思う。</p>
<p>仕事以外の趣味や、仲間がいれば良いと思います。</p>
<p>認知症になったらおしまいではなく、1日1日を楽しく過ごす工夫する。</p>

介護と育児のダブルケアでした。役場や施設の皆様には感謝の気持ちでいっぱいですが、まだまだ家族の負担が重いように思います。1年おきに負担限度額認定証と負担割合証の更新もいつものことですが大変です。
人とのかかわり。
認知症本人の気持ちを理解することは、非常に難しい。本人よりも周りの人の方が大変だと思う。
認知症の人が穏やかに過ごせるよう、また家族も穏やかに過ごせるよう、身体も心も負担しすぎない、気軽に助けてもらえる世の中になると嬉しいです。
介護する事なく生きたい。
お金です、施設などの利用費用。
夫と一緒におしゃべり出来る居場所を作り、地域で支えてもらった。
車が無く、療養者の足も不自由なので、外出の自由、楽しみがあったらもう少し、介護も楽になると思う。介護タクシーも、もう少し気楽にお安く使用できたらと思う。
認知症が進行しないで、できるだけ長くこのままであって欲しい。
祖母、母と認知症だった。私もいつかあんなのだと思うと全く希望が持てない。認知症と診断されたら、動けるうちに安楽死を望みたい。安楽死が日本で認められることを強く願う。
施設入所費用を年金で賄えるようにしてほしい。
自立できなくなった時に、介護保険を活用して、適切なサポートを受けられたら良いと思います。
介護サービスを交えた人と人の交流。
いろんなことが共有できる話相手がいること。
少しでも元に戻ってほしい。
本人が快適と思う居場所がある。
適切な介護認定。認知症についての知識を得ること。かくさない。前向きに受け止める。身内の理解を支援。当事者同志の話し合い。必要な所持金。医師との良好な関係。
認知症に対する社会の理解度を深める。
認知症を病気に認識する事。
認知症に対応する施設。特に一般の病院、歯科医院などを明確にしてほしい。(専用窓口の設置)
日頃の運動と、周囲の人と仲良くしたい。

<p>テレビで認知症の人が、うどん屋で認知症であることを公表して、お仕事をされているのを観ました。とてもいきいきとして、やりがいを感じてお仕事をされる姿が、とても印象的でした。認知症の人、高齢者の人というカテゴリーで集まるデイサービスだけでなく、認知症の人もそうでない人も、一緒に過ごせる場所、自分のしたいことができるその人の望む暮らしができるように、地域で支えられる社会になればと思います。</p>
<p>思うことはないです。認知症になったら人生終わりです。アミロイドβが溜まっているとか色々研究されていますが、認知症にならないように予防などいろいろやっていますが、何が一番の原因かは未だにわからず、何年後かに自分がそうなるのか不安です。</p>
<p>コミュニティバスの停留所をもっと増やしてほしい。遠すぎてバス停まで行けない。</p>
<p>安心できる環境がある。住みなれた地域で必要な支援が受けられる体制(医療、介護、生活支援)。経済的不安を減らすための制度や相談先が明確。自分の意思や希望を伝えられる仕組み。人とのつながりが続いていけるよう、支えられる側だけでなく、役割を持つ側にもなれる環境づくり、孤立しないための地域の仕組み、居場所づくりが必要である。</p>
<p>高齢の介護者(男女共)が1人で日常介護に当たっている世帯では、介護者に異常が発生時、休息や救済の手段や、頼れる場所が極めて乏しい。介護者にも光が当たる方策が必要である事を提案します。被介護者は介護認定を得ているので、施設でデイサービスやショートステイ、又は施設入所が可能である。</p>
<p>介護職の更なる充実、周りの認知症への理解。</p>
<p>家の中や家族だけではなく、外との繋がりや関わりを持って、家以外にも居場所がある。</p>
<p>家での介護者が複数人いる。周囲の理解。</p>
<p>毎日安心して通うことのできる場があると良いと思う。いつでも参加できる通いの場があれば、本人も生きがいを持てるし、介護者も息抜きができ、生活できる。高齢者の集いの場が身近に欲しい。</p>
<p>診断後すぐからの併走支援の充実。</p>
<p>安心と心の充足感を持てる施設がもっとあればと思う。</p>
<p>希望を持たすことよりも、現在の医療、保険介護業界の要員確保や、収入の向上など財政的に支援アップが必要。公的資金の大幅投入が必要。目に見える形で財政的支援の拡大を図るべき。</p>
<p>母を見るために一度介護離職しました。母が施設に入居してからは、正社員として復職しています。しかし、介護離職後、大変な思いを強いられた方も多いです。介護者の支援も行政として考えて欲しいです。</p>
<p>高齢になると無理なくだと思う。</p>
<p>周りのみなさんの理解。</p>
<p>家族の理解。</p>

認知症では無いかわからない。パーキンソン病で足の運びが困難である。7年目で幾分認知症があるかどうか？
福祉サービスを利用したい。
仕事がとても忙しく、仕事と介護の両立は大変です。周りの理解や協力、行政サービスなどをうまく利用し、共倒れにならないようなサポート体制が必要だと思います。
孤立しないこと。相談相手がいること。日常的に目の高さで顔を合わせて会話を交える人がいること。居心地が良いスキンシップタイムが一日一回は少なくともとれること。
他人に迷惑をかけずに日常生活を送ってほしい。
意思疎通ができなくなっても、してほしいことがしてあげるようにしたい。
本人の意思を大切にしてほしい。
好きなことを続ける。行きたいところへ行き、会いたい人に会う。
年金は減り、保険の負担額は増えています。自分の事は、自分でできるように、心身と金銭の管理をしていく時代になってきています。社会と関わりながら、老後元気に暮らせていければ、幸いですね。
本人自身が希望を持って生活できるようになればと願っています。
自分の家の周りに、高齢者(認知症)の人が集まる場所があると良い。
自宅で介護していた時は、ものすごく大変だったが、ケアマネさん通じて色々なサービスを使っていけるおかげで、本人も家族も前向きに生活ができるようになったので、私以外の人たちにも、そのようなサポートが、あれば良いと思う。
認知症がわかるピクトグラムを作って欲しい。
認知症の人の理解がまだまだ進んでいない。さらなる理解の推進が必要。認知症の人を対象にした作業所、生きがいを少しでも長く持てるようにして欲しい。
地域住民の理解が進めばもっと認知症をオープンにできると思います。
認知症を、早期に発見できるよう情報がほしい(認知症を疑う行動がどんなものかなど)。
認知症に限らず、気軽に集える場所があったらいいなあと思う。但し、公民館といった行政の関わる場所ではなく、ショッピングモール内、飲食店などに老若男女が日常生活の中で集うところ。託児所みたいに託老所が店内にあると家族は買い物しやすい。
社会の認知症に対する理解と協力がまだ足りていないと思う。
何か支えになるもの(仕事等)がないといられないと思うので、何か出来る仕事があればと思う。
自分自身で考えると、自分が認知症になった時に適切なサービスを(進行具合によって)受けられるようになって欲しい。
気持ちを汲み取ってくれる職員さんが増えることを望みます。